

一月例会

日時 平成二十八年一月十三日（水）

テーマ イノベーションの誤解

講師 一橋大学 商学部・大学院商学研究科 教授

鷲田 祐一 氏



一橋大学 兼松講堂 (国登録有形文化財)

■ 略 歴

1991年一橋大学商学部卒業、同年株式会社博報堂に入社、生活総合研究所、イノベーション・ラボで消費者研究、技術普及研究に従事。2008年東京大学大学院総合文化研究科博士後期課程を修了(学術博士)。2011年一橋大学商学研究科准教授を経て

2015年より現職。ハイテク分野において、ミクロ視点での普及学、グローバルマーケティング、ユーザーイノベーション論、未来洞察手法、デザインとイノベーションの関係などを研究している。



鷲田 祐一 氏



イノベーションの誤解, 日本経済新聞出版社 (2015/3/26)



デザインがイノベーションを伝える -- デザインの力を活かす新しい経営戦略の模索, 有斐閣 (2014/5/16)

二月例会

日時 平成二十八年二月十七日 (水)

テーマ イノベーションの法則性

講師 東北大学大学院経済学研究科 教授

柴田 友厚 氏

■ 略 歴

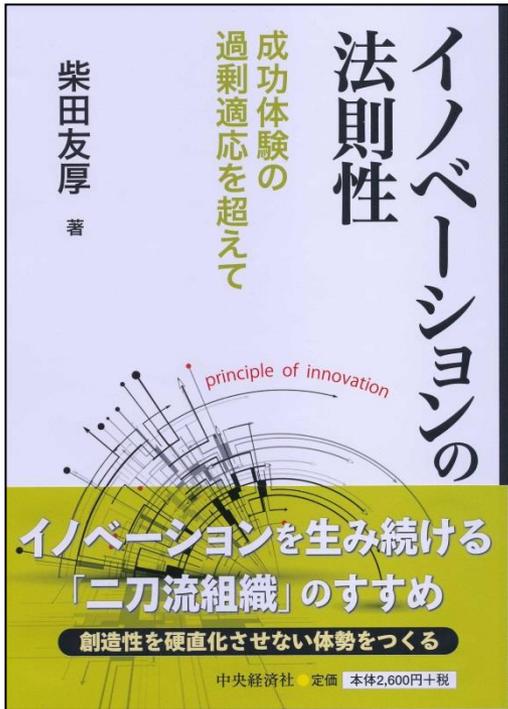
1983年京都大学理学部卒業後、ファナック株式会社、
笹川平和財団、香川大学教授を経て、2011年4月から
東北大学大学院経済学研究科教授。

筑波大学大学院経営・政策科学研究科修士課程修了
(MBA)。東京大学大学院工学系研究科先端学際工学
専攻博士課程修了(学術博士)。

研究領域は技術経営戦略、製品開発戦略。



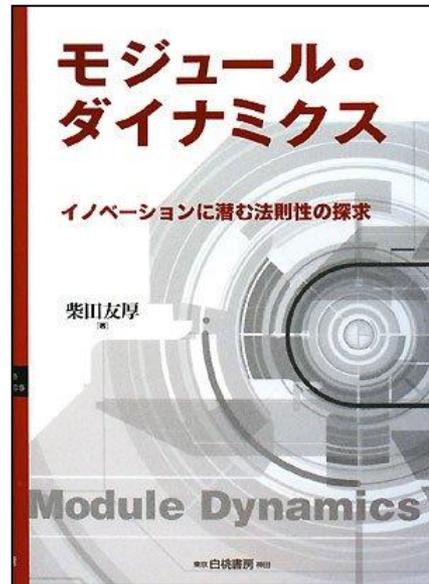
柴田 友厚 氏



イノベーションの法則性 - 成功体験の過剰
適応を超えて, 中央経済社 (2015/5/28)



日本企業のすり合わせ能力
- モジュール化を超えて,
NTT出版 (2012/1/25)



モジュール・ダイナミクス
- イノベーションに潜む法則性の探求,
白桃書房 (2008/07)

三月例会

日時 平成二十八年三月八日（火）

テーマ 幸せマナーとおもてなしを基本とするビジネスモデル

― 異文化コミュニケーションの実際に見る日本のビジネスの誇り

講師 筑波大学・大学院 客員教授

グローバルマナーズプリングス代表

江上 いずみ氏

江上 いずみ氏

■ 略 歴

1984年慶應義塾大学法学部法律学科卒業後、2013年7月までの約30年間、日本航空勤務。同年11月グローバルマナーズプリングス設立。2014年に筑波大学・大学院において「グローバル・マナー概論」を講義。2015年4月に筑波大学・大学院客員教授に就任。

全国各地の幼・小・中・高等学校や大学、自治体などに「グローバルマナーとおもてなしの心」を伝え、「おもてなし学」の構築に取り組む。

＜江上氏の主な講演、研修テーマ＞

- ・ 日本人のおもてなしの心によるマナー研修、接客・接客講座
- ・ 企業・官公庁・医療機関等 新人教育研修、ビジネスマナー研修
- ・ 大学生向け就活セミナー
- ・ 幼稚園・小学生・中学生・高校生向けオリンピック・パラリンピック教育
- ・ 外国人向け「日本の文化とおもてなし」「和食の文化」「書道実技」「和服の文化・着付け」

江上氏が代表を務める グローバルマナーズプリングス



Global Manner Springs

<http://www.globalmanner.jp/>


JAL接客の
達人が教える
幸せマナーと
おもてなしの
基本

お茶を出すときに添える手は3秒留めると印象がよい、ノックは世界基準では3回以上、美しいお辞儀のしかたなど、気遣いと国際的なマナーの真髓がわかります。

江上 いずみ
グローバルマナーズプリングス代表
筑波大学客員教授

美しい振る舞いが身につけば、
あなたも周りも幸せに!

海竜社
定価 本体1400円+税

JAL接客の達人が教える幸せマナーとおもてなしの基本,海竜社 (2015/11)

四月例会

日時 平成二十八年四月十一日(月)

テーマ 日本のイノベーションのジレンマ

講師 関西学院大学 経営戦略研究科 教授

玉田俊平太氏

■ 略歴

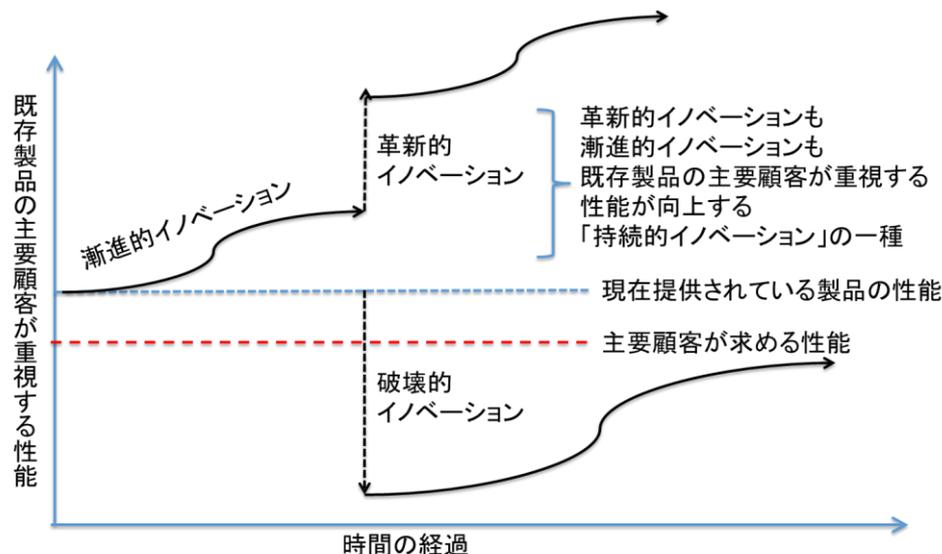
関西学院大学経営戦略研究科副研究科長。博士（学術）（東京大学）。ハーバード大学大学院にてマイケル・ポーター教授のゼミに所属、競争力と戦略との関係について研究するとともに、クレイトン・クリステンセン教授からイノベーションのマネジメントについて指導を受ける。筑波大学専任講師、経済産業研究所フェローを経て現職。

研究・イノベーション学会評議員。平成23年度TEPIA知的財産学術奨励賞「TEPIA会長大賞」受賞。

玉田俊平太氏



イノベーションの3分類



日時 平成二十八年五月十八日(水)

テーマ プラットフォームエコシステム理論の新潮流

講師 B-frontier 研究所代表

高橋 浩 氏

高橋 浩 氏

■ 略 歴

1970年東北大学大学院工学研究科(応用物理)修士課程修了後、富士通(株)に入社。システム本部主席部長(オープンシステム担当),SI事業本部主席部長(通信システム,商品企画担当)などを経て、2005年宮城大学食産業学部教授。2010年、宮城大学退職後、MCPC顧問を経て、2015年にB-frontier研究所設立。

2006年に東京工業大学大学院博士課程修了、博士(学術)。

公開されているプラットフォームエコシステムおよびビジネスモデルに関する研究群例

<http://www.slideshare.net/HiroshiTakahashi/>



MQB:ドイツのフォルクスワーゲングループが開発した4WD専用車台

高橋 浩

六月例会

日時 平成二十八年六月二十日(月)

テーマ プラットフォーム戦略論とは何か

講師 早稲田大学 商学学術院 教授

根来 龍之 氏

■ 略 歴

京都大学文学部哲学科卒業。慶應義塾大学大学院経営管理研究科(MBA)修了。鉄鋼メーカー、英ハル大学客員研究員、文教大学などを経て、2001年度より早稲田大学教授。早稲田大学IT戦略研究所所長(現職)。経営情報学会会長、国際CIO学会副会長、組織学会理事・評議員、Systems Research誌Editorial Board、Systems Practice誌International adviserなどを歴任。他に、エグゼクティブ・リーダーズフォーラム代表幹事、CRM協議会副理事長、経済産業省IT経営協議会委員、IT Japan Award審査員などとして実業界にも積極的に関わっている。経営情報学会論文賞を3回受賞。

根来 龍之 氏



プラットフォームビジネス最前線 - 26の分野を図解とデータで徹底解剖, 翔泳社 (2013/12/13)



ビジネス思考実験, 日経BP社 (2015/12/15)



事業創造のロジック, 日経BP社 (2014/1/23)



七月例会（JWSE女性エンジニア活生分科会と共催）

日時 平成二十八年七月二十日（水）

テーマ 技術流出の構図

・エンジニアたちは世界へどう動いたか

講師 科学技術・学術政策研究所主任研究官

藤原綾乃氏

■ 略 歴

東京大学大学院工学系研究科博士課程修了（技術経営戦略学専攻）。博士（工学）（東京大学）。東京大学経済学部卒業。

知的財産研究所特別研究員、大阪大学 特任助教を経て、現職。

稲盛財団（稲盛和夫理事長）寄付講座にて「人材流動化とイノベーション」等の講義を担当。

専門は、技術経営戦略論、イノベーション論。



藤原綾乃氏



膨大な特許データ分析で読み解く 人材活用戦略

「頭脳の流出」というセンセーショナルに扱われがちなテーマについて実証的に分析し、グローバル市場で活躍するエンジニア、さらに受け入れ先の各国企業の実態を明らかにする

八月例会

日時 平成二十八年八月二十四日(水)

テーマ 21世紀の消費・無謀、絶望、そして希望

講師 立教大学社会学部現代文化学科教授

間々田孝夫氏



間々田孝夫氏

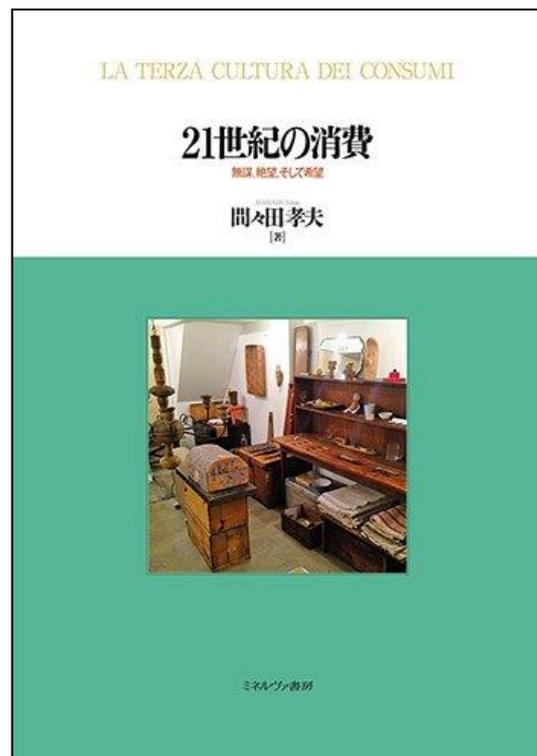
■ 略 歴

1974年東京大学文学部社会学科卒業。1979年に東京大学大学院社会学研究科博士課程単位取得退学。金沢大学文学部を経て、現職。

専攻は消費社会論、経済社会学、社会行動論、社会階層論。

20世紀には、大量消費と機械化を追求する「第一の消費」、自己顕示や商品の差異を求める「第二の消費」が注目されたが、20世紀末からは文化を通じた幸福と社会的配慮による安定を目指す「第三の消費」が台頭し、また消費を抑える「ゼロの消費」も復活した。

本講演では、この状況を確認しつつ、21世紀にふさわしい新しい消費のとらえ方を提案する。



21世紀の消費:無謀、絶望、そして希望,
ミネルヴァ書房 (2016/3/5)

九月例会

日時 平成二十八年九月十四日(水)

テーマ イノベーション・マネジメント

・プロセス・組織の構造化から考える

講師 東京大学生産技術研究所教授

野城智也氏



野城智也氏

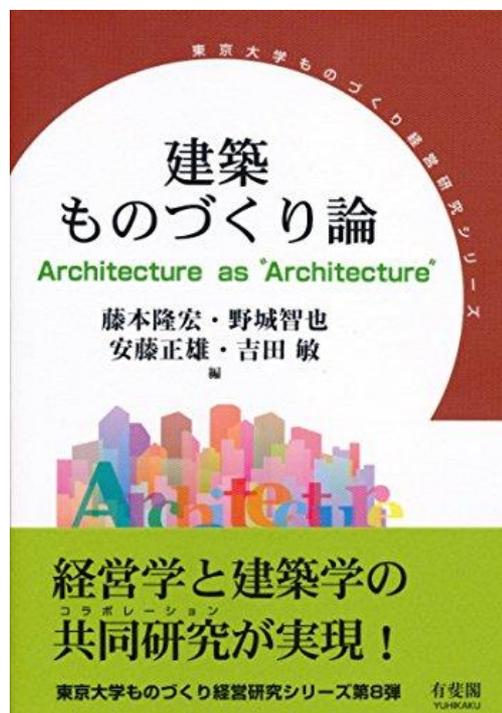
■ 略 歴

1980年東京大学工学部建築学科卒業。1985年東京大学大学院工学系研究科建築学専門課程博士課程修了(工学博士)。建設省建築研究所研究員、武蔵工業大学建築学科助教授、東京大学大学院

工学系研究科社会基盤工学専攻助教授、東京大学生産技術研究所助教授を経て、2001年より現職。2009-2012年東京大学生産技術研究所所長、2013-2016年東京大学副学長を歴任。



イノベーション・マネジメント: プロセス・組織の構造化から考える, 東京大学出版会 (2016/5/31)



建築ものづくり論 -- Architecture as "Architecture", 有斐閣 (2015/7/9)



ペッカ・ナイタマキ氏

■ 略 歴

1973年ユヴァスキュラ大学修士、1978年ユヴァスキュラ大学博士(数学)。1988年よりユヴァスキュラ大学教授。1993-2000年同副学長、2000-2009年同アゴラセンター長、2010年より、同情報学部長。フィンランド イノベーション諮問委員、欧州社会数理学会会長等を歴任

2016. 10. 18

十月例会

日時 平成二十八年十月十八日(火)

テーマ フィンランドのプラットフォームエコシステム

講師 フィンランド ユヴァスキュラ大学 情報技術学部長

ペッカ・ナイタマキ氏



The World's First Next-Generation Bioproduct Mill

十一月例会

日時 平成二十八年十一月十日(木)

テーマ 世界的なデジタル化経済下における

日本のものづくり企業の課題

講師 経済産業省製造産業局参事官

徳増伸二氏

(デジタル化・産業システム担当)

徳増伸二氏

■ 略歴

1994年経済産業省入省後、大学連携推進課、研究開発課、NEDO出向、産技国際室長、産総研室長など、主に産業技術関連の部署を数多く経験。

2016年7月に製造産業局参事官(デジタル化、産業システム担当)((併)ものづくり政策審議室長)に着任。

早大理工卒・同大学院修士、ハーバード大院行政修士、MIT院経営修士、東工大大学院社会理工博士、博士(学術)。

＜概要＞

IoT / ビッグデータ / AI 等による第四次産業革命が叫ばれる中、ドイツでは産学官によるIndustri 4.0 の取組、米国では民間主導の Industrial Internet Consortium (IIC) による取組が積極的に推進されている。

そうした経済のデジタル化が世界的レベルで進み、各国企業が対応を進める中、我が国ものづくり企業の現状及び課題について討議。



十二月例会

日時 平成二十八年十二月十四日(水)

テーマ イノベーション・ドライバーズ

IoT時代をリードする競争力構築の方法

講師 SBFコンサルティング代表取締役

氏家 豊 氏

氏家 豊 氏

■ 略 歴

大学卒業後、資本市場・投資銀行業務に従事。事業企画、産業・企業分析、IT系企業の株式公開・M&A等関連。1999年シリコンバレーに移り、SBF, Inc. を設立。国際混成チームで、日米にて日本企業向けのIT系技術製品・事業開発サポート業務を展開して現在に至る。

データが介在する機器システム、その社会課題的な分野への国際的な展開領域が中心。日本経済新聞社ネット版ライター、東北大学大学院工学研究科(技術社会システム専攻)非常勤講師、大阪府等の海外ビジネス顧問ほかを歴任。82年東北大学経済学部卒。



イノベーション・ドライバーズ: IoT時代をリードする競争力構築の方法, 白桃書房 (2016/6/20)

加速度を増すIoTのうねりは、積み上げたハードウェアとIT、サービスの融合トレンドの顕在化でもある。そんな時代をけん引する企業の競争力戦略、その方法論を提示。以下の3つの切り口。

- ①コンセプト・ビジョンの創発、発信
- ②データIT力による顧客価値追及
- ③企業自身のエコシステム形成

産業制御、自動車、医療他の広義IoTトレンドにあつて、企業がどんな形で技術・製品・事業を企画発信し、IT・データ処理を駆使し、オープンに事業展開するか。それは大学他の技術シーズ側の出口戦略ともつながる。